

執筆者紹介

樋口 博美	本学人間科学部教授	柴田 弘捷	本研究所研究参与
神原 理	本学商学部教授	池本 正純	本研究所研究参与
石川 和男	本学商学部教授	高橋 祐吉	本研究所研究参与

〈編集後記〉

2019年度夏季実態調査は、2019年9月2日(月)より9月6日(金)までの4泊5日で実施されました。今回の実態調査で北前船の寄港地をめぐる調査が第3回目となりました。まず新潟港に集合し、ジェットフォイルで佐渡島に渡りました。そこでは「金銀の島」として繁栄した400年以上の年月を振り返り、実物大の北前船を再現した船に実際に入り、その大きさを体感しました。野生に放たれた朱鷺の姿を見る幸運にも恵まれ、北前船寄港地であった小木港から新潟県直江津に渡りました。そして、立山連峰を望むYKKの工場施設を概観した後、これまでの同社の歴史を振り返り、魚津で宿泊した後、「富山の菓売り」として現在も製菓企業が多く所在する富山市を訪問、新しい交通システムなどを体感することもできました。その後、石川県へ入り、錫を利用した工芸品制作を行っている高岡市の能作の工場見学では、新たなことにチャレンジをする地方企業の逞しさを感じることができました。また金沢では、津田駒工業などグローバルを見据えた企業活動にも触れることができました。

今号では、最初に訪問した佐渡島のインパクトの強さからか、若干佐渡に原稿が集中した面があります。ただ、新潟県、富山県、石川県という昔も現在もそれぞれの顔を持つ地域の特徴をさまざまな角度から感じる事ができた実態調査であったと思います。江差追分が流れる中、北海道を出た北前船(社研号)は3回目の実態調査で石川県まで辿り着きました。今後さらに日本海側を南下し、以前の産業と現在の産業が実感できる調査が継続していくことが期待されます。

石川

2020年2月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 宮 寄 晃 臣

製 作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561
